

(動物) 再生医療・細胞療法について

再生医療・細胞療法とは、間葉系幹細胞や免疫細胞を体外で人工的に培養し増やして投与する治療法です。投与された細胞が分泌する生理活性物質が、周りの環境や細胞に影響を与えることで、炎症を抑制したり免疫を調整したり、血管を新生したり組織を修復したりして、**身体が本来持つ修復機能や自己治癒力を復活させ、病気や怪我や加齢によって機能不全・機能欠陥になった組織の治癒を促します。**

【適応疾患は研究結果により変化しますが、以下の病気が代表的です】

消化器疾患	慢性腸症 (犬・猫)
肝胆膵疾患	肝炎、膵炎 (犬・猫)
血液疾患	免疫介在性溶血性貧血【IMHA】 (犬・猫) 免疫介在性血小板減少症【IMTP】 (犬)、非再生性免疫介在性貧血【NRIMA】 (犬) 赤芽球癆【PRCA】 (犬)、再生不良性貧血 (AA) (犬)
内分泌疾患	糖尿病 (犬)
泌尿器疾患	慢性腎臓病、急性腎障害 (犬・猫)
呼吸器疾患	喘息 (猫)
神経疾患	椎間板ヘルニア (犬)、非感染性髄膜脳脊髄炎、外傷性脊髄損傷 (犬・猫)
骨・関節疾患	関節炎【変形性関節症・免疫介在性多発性関節炎】 (犬・猫)
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎 (犬)、天疱瘡【尋常性、落葉状】 (犬・猫)
眼科疾患	乾性角結膜炎 (犬)
口腔疾患	慢性口内炎 (猫)
感染症	猫伝染性腹膜炎【WETタイプ】 (猫)

【方法とリスクは？費用は？】

半日程度預かって静脈点滴で行います。従来各病院で細胞培養をして細胞を用意した頃よりも、かなり安全かつ効果的になりましたが、それでも「血栓症やアレルギー等の副作用のリスク」はゼロではありません。また費用も従来よりは安くはなりましたが、一回で預かりや点滴の費用を合わせて9~12万円位必要だと想定して下さい(基本的に培養する細胞代金はキャンセル不可で先払いになります)。回数は病気によりますが、1回で済む事もあります。各種保険・補助が出る場合もありますので、詳しくは直接ご相談下さいね。